

令和5年度認知症対応力ステップアップ研修会オンデマンド版

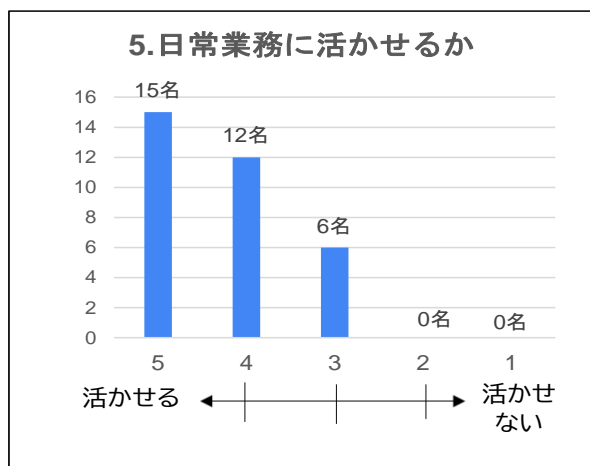
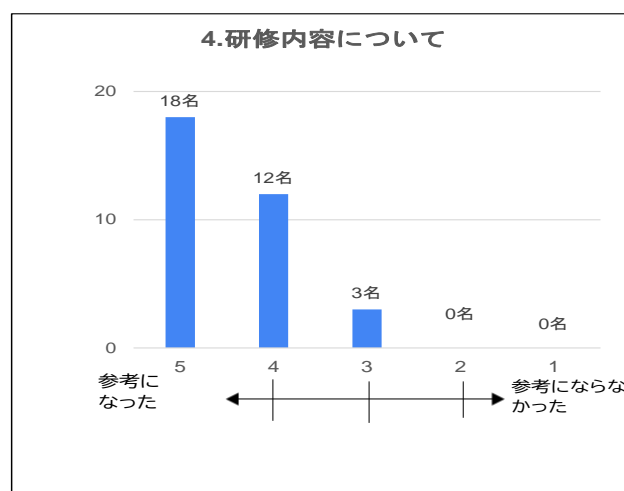
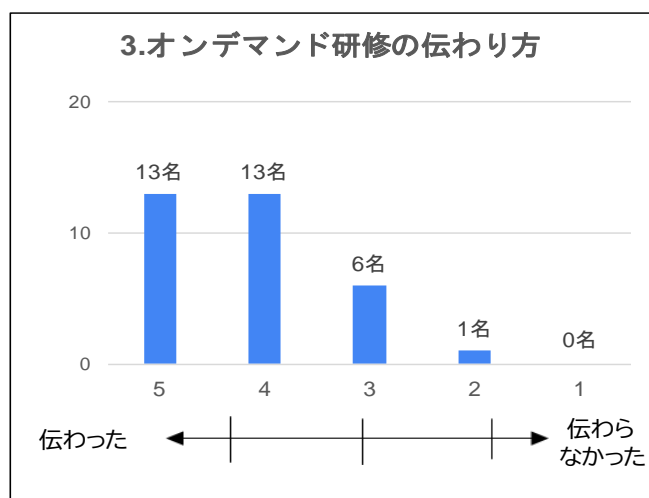
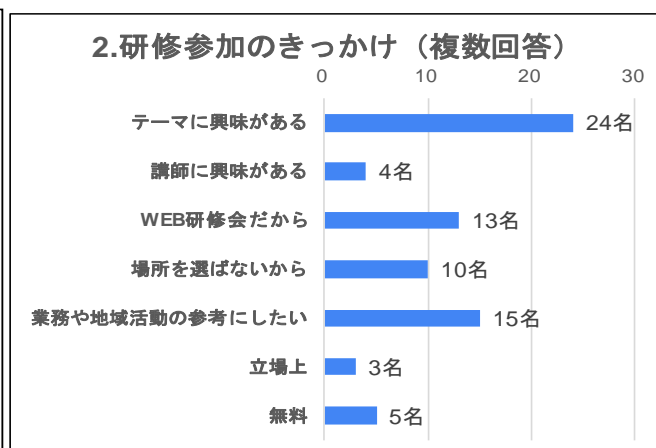
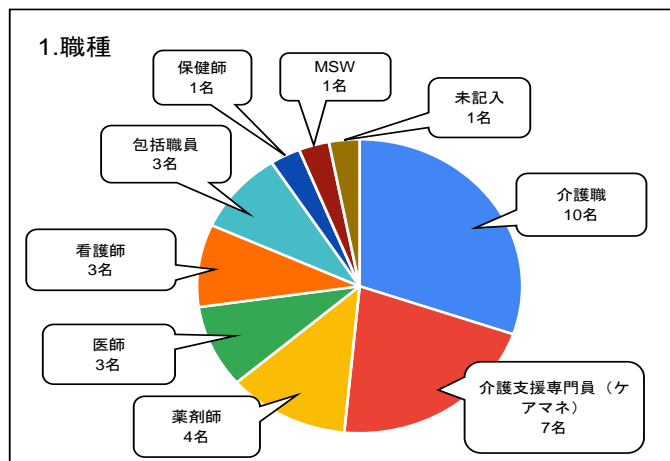
「つながりを築く～認知症の人とその家族のケアを考える～」

視聴期間：令和6年3月18日（月）～3月25日（月）

■申込数：90名

■再生回数171回（回線数：97回線）

■アンケート回答者：33名



5. 日常業務に活かせるか
その理由については次ページへ

5. 今後日常業務に活かそうですか その理由等(抜粋)

<p>活かせる</p> 	<p>5</p> <p>①サービスを利用していただいた後の報告について、できなかった事ではなく、できたこと、楽しめた事を伝えることで、家族が安心できることを再確認できました。 ②本人を大切に考える。家族に寄り添ったケアが大事。 ③気持ちの受け止めだけではなく具体的な支援を求めているということに改めて気づかされました。また今日話された内容は、認知症診療に限らずすべての健康問題の診療に通ずることなので、学べたことを嬉しく思います。 ④介護家族者は話を聞いて共感し励ましてもらうことだけではなく、一番は困っていることへの具体的な支援策を必要としている。そして家族の会を通し同じ状況下の仲間と話し合うことで心に響くのだと思う。家族の会につなげる重要さがわかり大変勉強になった。 ⑤サービスをする者、受ける方は対等でありたいといつも思っているのですが、現実とはなかなかそのようにはなりません。今回、ご家族の方の思い、それを通じてのご本人のお気持ちを聞かせていただいて、あらためて、お互いに話をしあうことの大切さを学ばせていただきました。 ⑥抗アミロイドワクチンについて、どのように作用するか？評価と課題について、関心があったのでとても参考になりました。また、認知症の人と家族の会の活動についても、介護職員では添いきれない。家族を介護している方同士のつながりが大きな心の支えになることを改めて感じました。 ⑦認知症の介護をしている家族へ「家族の会 つどい」へ行くことを、是非勧めてみたいと思いました。 ⑧和子さんの話は、私にとって宝になる話です。今、私が担当している利用者を思い浮かべながら参加しました。サービスに繋がっても、家族の気持ちが楽になるわけではない事は理解していたつもりですが、今回の研修を通して、また本人、家族の思い、話を大事に傾聴し寄り添って支援していければと思います。佐々木さんの当事者の話を聞く事はとてもわかりやすく学ばせて頂きました。ありがとうございました。 ⑨認知症の人と家族の会の方のお話が印象的でした。認知症の人の家族の気持ちや心理的なステップについてのお話が大変参考になりました。担当している利用者さんのご家族を思い浮かべながらお話を聞くことができました。今後の業務に活かしていきたいと思います。</p>
<p>活かせる</p> 	<p>4</p> <p>①家族からの想いや対応による本人、家族の変化…。やはり、知識やサービス調整も大切だけど人に寄り添う姿勢が一番必要な事と実感しました。 ②「家族の会つどい」について 23年前、当時私が38歳、姑70歳で認知症発症し、知識もなく子育てと介護の両立で毎日泣き苦しんでいた日を思い出しました。その当時「家族の会」があれば違っていたのかもしれませんが、でも、ケアマネジャー、介護事業所の皆さんに助けていただいたことも忘れません。「家族の会」を広めて欲しいです。 ③家族会という存在が家庭での介護に大きな影響を与えたいと思いました。また、利用者様や家族への声掛けなど改める点があることを知りました。認知症の本人が一番困っている…以前も同じような言葉を聞いてはいましたがもう一度心に留めたいと思います。利用者様が「納得」できる声掛けを探っていきたいと思います。また、情報を先に得ようとしていたこと、耳が痛いです。利用者様本人とのかかわりを大切にしていきたいと思います。記録などにもポジティブなことを書くよう心掛けたいと思います。ありがとうございました。 ④家族会の役割や重要性を知ることができた。ケアマネには、本人や家族が困っていること・心配なことに、慰めや励ましだけでなく、しっかり向き合い、相談先や具体的な手立てを一緒に考え行動することが求められていると強く感じた。資料の1～4は、具体的な表現が用いられて分かりやすく、大切なことなので、多くの認知症の人や家族、そして支援する職員等にも知ってほしいと思った。 ⑤佐々木さんのお話で家族の苦しい思いが少しわかったような気がします。</p>
<p>活かさない</p> 	<p>3</p> <p>①「認知症の人と家族の会」の集える場所を各地域ごと等増やせることができればと思った。せつかつの会でも参加したくても交通の手段がない為参加できない方もいるのではと思った。 ②家族が認知症を受け入れる課程に応じた対応の仕方。また、家族にフォーカスを当てがちだが一番困っているのは本人ということ。</p>